

宮崎牛

<http://miyazaki.lin.go.jp/>

2006年9月号 No.45



KIRIN「選ぼうニッポンのうまい!2006」キャンペーンで、宮崎牛を全国に紹介していただきました(7月18日 宮崎市JA・AZMホール)



第107回経済連和牛枝肉共進会では、矢野和孝さん(宮崎市)がグランドチャンピオンに輝きました(6月27日(株)ミヤチク高崎工場(左から矢野良夫さん、和孝さん))



県畜産関係4団体の統合協定書調印式が行われました(7月7日 宮崎市)



農林水産省飼料自給率向上戦略会議現地検討会が開催されました(6月29～30日 国富町、高千穂町)＜写真は高千穂町の放牧風景＞

目次 (第45号)

◎地域情報

審査眼競い合う!ガンバレ若い力!～家畜審査競技会開催される～

from 全国和牛登録協会宮崎県支部 1

母牛飼養頭数規模別戸数の推移

from 子牛基金協会 2

第107回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催

from 県経済連 3

宮崎県畜産関係4団体の統合について

from 県畜産会 3

農林水産省飼料自給率向上戦略会議現地検討会を国富町、高千穂町で開催

form 県畜産課 4

◎事業紹介

「認定農業者」が参加要件となります!～肉用牛肥育経営安定対策事業(マル緊事業)～

form 県畜産会 5

◎技術情報

子牛のミルクに新提案!～子牛用代用乳の紹介～

from 県経済連 6

◎種雄牛紹介

但馬牛「上福俊」号導入 他新規種雄牛

from 家畜改良事業団 7

◎飼養管理情報

from NOSAIみやざき 8

◎今後の行事日程

from 全国和牛登録協会宮崎県支部 9

情報誌「宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●全国和牛登録協会宮崎県支部 ●宮崎県畜産会

審査眼競い合う! ガンバレ若い力!

家畜審査競技会開催される!



第 57 回宮崎県学校農業クラブ連盟大会家畜審査競技会が去る平成 18 年 6 月 20 日、児湯地域家畜市場で開催されました。家畜審査競技は、黒毛和種の部とホルスタイン種の部に分かれて、それぞれ4頭の牛について審査を行いました。県内から都城農業高等学校、高原高等学校、日南農林高等学校、高鍋農業高等学校、高千穂高等学校の5校の生徒が黒毛和種の部に49名、ホルスタイン種の部に30名がエントリーし、これまで培ってきた審査技術を競いました。

開会式の中で審査長の（社）全国和牛登録協会宮崎県支部、長友業務部長が「今日の審査競技会で優勝する自信がある人。」と生徒達に質問を投げかけると、

迷わず数名の生徒が手を挙げました。この姿を見てこれまでの成果を発揮するぞという意気込みと、審査競技会に対する想いが伝わってきました。

黒毛和種の審査競技の設問は、体積・均称、資質・品位等、黒毛和種の審査標準に照らした牛の相対的な評価の序列と、毛、前軀、尻の3項目の序列について出題されました。生徒たちは4頭の牛を1頭1頭丹念に様々な角度から何度も何度も見比べ、牛に触って毛や皮膚の感触を確かめながら審査に取り組んでいました。

競技の結果、黒毛和種の部は高鍋農業高等学校の甲斐卓也君が、ホルスタイン種の部は高鍋農業高等学校の中村大輝君がそれぞれ第1位に輝きました。ホルスタイン種の部第1位の中村大輝君と第2位の高原高等学校の奥山渚さんは、来る平成18年10月24日から愛媛県で開催される『第57回日本農業クラブ連盟大会・ホルスタイン種の部』への出場キップを手に入れました。

表彰式の後、甲斐君は「結果が発表されたときはビックリしました。日ごろの成果を十分に発揮できました。今後はさらに勉強に励み、もっと牛をよく見ることが出来るようになります。」と力強く語ってくれました。

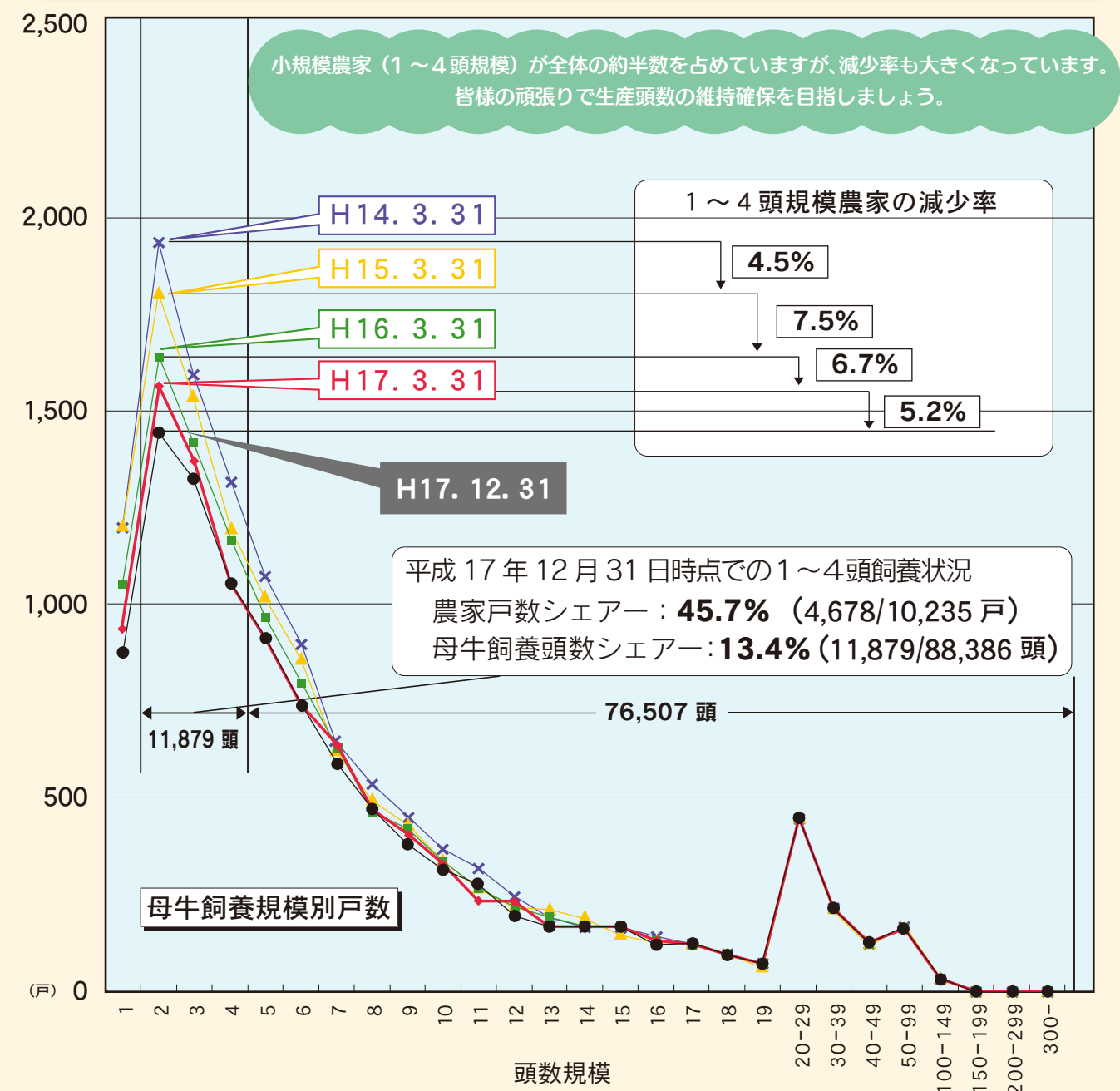
家畜審査競技会の様子を見させて頂いた中で強く印象に残ったことは、会場の設営、競技会の運営並びに代表



あいさつ等多くの生徒たちが裏方（農業クラブ活動としては表）として汗をかき頑張っていたことです。正に、この生徒たち一人一人が競技会成功の立役者であり賞賛されるものであります。このように、競技会を成功させようという生徒たちの想いが結集した手作りの競技会、そして、愛牛を提供頂いた農家の人たちやご指導頂いた先生や技術員の方々のご理解とご協力に支えられた競技会は、人の繋がりの素晴らしさ、農業クラブ活動を通しての学校教育の素晴らしさを再認識させてくれました。

おわりに、農業クラブ活動での宝の産物、「仲間」を今後の人生においても大切にしてほしいと強く思いました。そして、この生徒たちの若い力が今後の地域の農業を、更には日本の農業を力強く支えてくれることを確信しました。ガンバレ、若い力!

母牛飼養頭数規模別戸数の推移



第107回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を開催

～太陽と緑の大地で育ったよか牛を全国に!～

JA宮崎経済連和牛枝肉共進会を平成18年6月27日(火)、(株)ミヤチク高崎工場で開催しました。

共進会には県内より選抜された 109 頭が出品され、JA宮崎中央の矢野和孝さんがグランドチャンピオンに輝き、その後のセリで1キロ当たり 7,040 円(322 万7千円)と高値取引されました。また、2席は山下一二さん(JAこばやし)が入賞され、成績上位の多かった JA こばやしが、優良出荷奨励賞(団体賞)に輝きました。

今回と前回の(平成18年2月)の平均を比較すると、皮下脂肪は 0.1cm厚くなり、枝肉重量が 3.5 kg、ロース芯面積は約1cm²、バラ厚が 0.1cm上回りました。肉質等級についてもA5が35頭(32.1%)、A4が57頭(52.2%)と前回の上物率 81.3%と比較して 84.4%と 3.1 ポイント上回る結果になりました。

入賞	農協名	出荷者名	性別	血 統			生体重量(kg)	DG	枝肉重量(kg)	枝肉歩留(%)	歩留等級			BMS(No.)	等級	単価(円/kg)
				父	母の父	母の祖父					ロース芯(cm ²)	バラ厚(cm)	皮下脂肪(cm)			
グランドチャンピオン	宮崎中央	矢野和孝	去	福之国	日向国	安平	705	0.72	458.4	66.6	73.0	8.9	1.9	11	A5	7,040
2 席	こばやし	山下一二	去	福之国	上福	隆桜	777	0.66	504.4	66.9	75.0	9.2	2.5	11	A5	5,340
3 席	はまゆう	古澤良広	去	福之国	安平	福桜	772	0.75	493.8	65.1	55.0	8.7	3.1	10	A5	4,510
4 席	綾町	綾町農協キャトルステーション	去	福之国	安平	菊安	724	0.75	478.7	67.8	57.0	9.5	2.5	9	A5	4,090
5 席	都城	朝倉龍雄	去	日向国	大将	安平	773	0.74	503.5	66.6	76.0	9.2	2.8	9	A5	3,800
6 席	*	宮崎県畜産公社	牝	安平	隆桜	第20 平茂	739	0.65	455.5	64.2	77.0	7.6	3.0	9	A5	3,750
7 席	尾鈴	黒木生子	去	福之国	安平	糸弘 2	779	0.76	515.1	67.4	76.0	8.4	2.1	9	A5	3,660
109 頭平均値							746	0.73	477.8	65.0	62.0	8.4	2.9	6.5		2,798
第 106 回(平成 18 年 2 月開催)の平均値							726	0.72	474.3	65.3	60.9	8.3	2.8	6.2		2,759

宮崎県畜産関係4団体の統合について



平成16年3月に公表された「宮崎県公社等改革指針」並びに畜産を取り巻く情勢に応えるために、県内の畜産団体は「宮崎県畜産団体再編推進協議会」等設置し、具体的に事業や組織の見直しを進めてきた。

このたび、宮崎県畜産関係4団体の会長(宮崎県畜産会、同肉用子牛価格安定基金協会、同家畜畜産物衛生指導協会、同養豚協会)が、宮崎県知事の立会いのもと統合協定書を締結した。

協定書締結の内容は、

1. 4団体が対等に統合する
 2. 統合方法は、畜産会を存続団体とし、他の3団体を解散する
 3. 新団体の名称は、社団法人宮崎県畜産協会とする
 4. 統合基準日は、平成18年10月1日とする
 5. 解散3団体の業務、財産、職員の全てを存続法人が継承する
 6. 統合4団体の会員のすべてを、新団体の会員とする
- などとなっている。

統合後は、業務の適切な推進、効果的・総合的な支援体制の確立、業務執行の効率化等図っていくことにしている。



農林水産省飼料自給率向上戦略会議現地検討会が国富町、高千穂町で開催されました。

農林水産省飼料自給率向上戦略会議の現地検討会が6月29日(木)、30日(金)に国富町と高千穂町で開催されました。農林水産省の担当者のほか、九州農政局、県内農業団体等、延べ約140人が参加して、梅雨の期間ではありましたが、天候にもめぐまれ熱気あふれた検討会になりました。



29日の国富町では、全国でも先進事例として有名な「飼料用イネを活用した耕畜連携による肉用牛振興の取組」の紹介があり、飼料用イネの作付拡大を契機に耕種農家と畜産農家の連携が進み、繁殖牛の増頭に大きく貢献したことが報告されました。また、飼料用イネを利用している笹森義幸氏の牛舎で現地調査があり、飼料用イネの給与実態や意見交換があり、笹森氏からは「肥育農家が飼料用イネを利用しやすいように補助事業の要件を見直して欲しい」などの要望もあがりました。

翌30日の高千穂町では「西臼杵地域における飼料自給率向上の取組」の説明があり、肉用牛の増頭を推進しているものの急傾斜地に囲まれた西臼杵地域では土地条件からこれ以上の地元の稲わらの確保が難しいことから、県外産稲わらをJAが主体となって確保している事例等が報告されました。また、「遊休農地を活用した放牧の取組」も紹介され、この背景には、農家の高齢化に伴い遊休農地が目立ち始め、猪、猿等の被害も拡大してきたという、中山間地特有の大きな問題があるようです。現地調査は、この放牧を実践している同町上田



原地区の今狩牧野営農組合で行われ、代表の伊藤和美氏から、「粗飼料の確保や飼養管理の手間が省けた」ことや「放牧により農村としての景観が確保され、農地の保全が出来た」などの説明がありました。

なお、戦略会議の本部長である小斉平政務官は、2日間にわたり地元生産農家の話しに熱心に耳を傾けるとともに、「安全な畜産物生産の面からも自給飼料の確保は最重要課題である」と改めて決意表明をされました。

畜産課 酪農飼料担当主幹 徳留英裕

「認定農業者」が参加要件となります！

～肉用牛肥育経営安定対策事業(マル緊事業)～

事業について

目的

・牛枝肉価格が低落した場合に、生産者に補てん金を交付することで、肉用牛肥育経営の安定を図る。

効果

・国内 BSE 発生による枝肉価格の下落等の際し、セーフティネット措置として、肉用牛肥育経営の安定に寄与。

対象者

・認定農業者を基本とし、認定農業者に準ずる者を特認の形で個別に認定する。

○ 対象者

「認定農業者」

+

「認定農業者に準ずる者を特認の形で個別に認定」

特認の基本的考え方

- ① 「担い手育成計画」等を有する生産組織に属していること
- ② 個別経営として「経営向上計画」を有すること
- ③ 生産組織の「担い手育成計画」が個別の「経営向上計画」の積み上げになっており、両計画の実践を通じ、着実に担い手が育成・確保されることが見込まれること

※計画に基づき複数の経営が参画して、法人として認定農業者を目指す場合等、その他のケースについても個別事例に則し認定

＜お問い合わせ先＞

認定農業者に関するお問い合わせは、最寄りの市町村、畜産会等にお問い合わせください

子牛のミルクに新提案！

～子牛用代用乳の紹介～

再び超早期母子分離技術（人工哺育）について紹介させていただきます。

1. 子牛用代用乳の特長は？

- ①安定した乳成分であるので、子牛を健康に育てられます。
- ②乳量不足や双子の時に母乳の代用として最適です。
- ③子牛の個体管理（健康状態）がよくできます。

2. 新製法（SPG製法）による代用乳の特長

- ①代用乳が固まりにくくなりました。
- ②お湯に溶けやすくなりました。
- ③お湯に溶かした後、油脂が分離しにくくなりました。
- ④バケツ、哺乳瓶に油脂が付着しにくくなりました。
- ⑤脂肪球が小さくお腹にやさしくなりました。
- ⑥子牛の健康を増進する生菌剤など多くの物質が使われています。



3. 初乳粉末銘柄および代用乳を紹介します。



※さいしょのミルク…良質な初乳をていねいに粉末化し、子牛に最も重要な免疫グロブリンが速やかに吸収されます。思うように初乳が手に入らない場合に最適。

①みるくん VO2 …ちっちゃな子牛も丈夫に育つ高たん白、低脂肪の超高性能の和牛専用代用乳。

②モー特ミルク …25年の歴史がある、生乳の栄養成分に近い、これが元祖代用乳。

③V ミルク 02 …これを飲ませて安心飼育、高たん白、高脂肪の栄養たっぷり代用乳。



子牛用代用乳および初乳粉末保証成分一覧表

	粗たん白 %以上	粗脂肪 %以上	粗繊維 %以下	粗灰分 %以下	カルシウム %以上	りん %以上	TDN %以上
さいしょのミルク	40.0	10.0	1.0	10.0	0.8	0.7	106.0
みるくん VO2	24.0	18.0	1.0	10.0	0.8	0.5	105.0
モー特ミルク	25.0	21.0	1.0	10.0	0.8	0.6	109.0
V ミルク 02	24.0	16.0	1.0	10.0	0.5	0.3	103.5

お問い合わせは最寄りの JA、経済連へお願いします。

但馬牛「上福俊」号導入

6月20日但馬産黒毛和種の種雄牛候補を取引する展示会・オークションが行われ、宮崎県が「菊俊土井」号の産子「上福俊」号を最高価格で落札し、生まれ故郷の兵庫県から遥々南国宮崎の地にやってきた。

「上福俊」号の父、「菊俊土井」号は、兵庫県内外の枝肉共励会で安定した成績をおさめており、現在最も評価の高い種雄牛である。母の「ゆきふく」号(父:「谷福土井」号)は、現在、県家畜改良事業団で繋養中の「上福」号の全きょうだいの妹にあたり、「美津福」号(国・事業団)、「牛若丸」号(長崎)等、全国各地に多くの種雄牛を産出しているエリート家系である。

本牛は、但馬牛特有の骨締り、皮、毛質といった資質面に加え、前軀の深み、中軀、特に肋張りが良好で、発育、体積面においても充実している。また、兵庫県からの導入も5年ぶりとなり、大きな可能性を持った種雄牛で、宮崎県における更なる改良に期待が高まる。

血統

菊俊土井 黒原2802 (82.2)	菊安土井 黒育125	菊則土井 黒育32	菊美土井	田 尻
		むらよし 黒高42062	たまる	熱土井
			安千代土井	田安土井
	にしき2 黒育9174	菊照土井 黒育100	おくみー	菊美土井
		にしき1 黒高51412	菊則土井	菊美土井
			とくかね	田照土井
ゆきふく 黒原1126991 (82.3)	谷福土井 黒高950	安谷土井 黒育85	茂光波	茂金波
		きくつる 黒高29920	にしき	田安土井
			安美土井	田安土井
	ゆきひめ6 黒高131473	菊照土井 黒育100	いつひめ	田森土井
			菊美土井	田 尻
			しょうふく三	田福土井
		おおみぞ 黒育11145	菊則土井	菊美土井
			とくかね	田照土井
			安美土井	田安土井
			みつふく	菊美土井

測尺値

体 高	胸 囲	胸 深	尻 長	腰角幅	かん幅	体 重
131.4	189.0	65.5	52.0	43.5	43.0	478

date	
生 年 月 日	平成17年2月8日
産 地	兵庫県美方郡
生 産 者	上治 福則
育 成 者	宮田 孝仁



新規種雄牛紹介

やす しげ もり
安重守号



体積・資質を兼ね備えた安平産子

生年月日 / 平成17年2月21日
産 地 / 小林市
生 産 者 / 仮屋 重典

血 統

安 平 黒原2208 (84.0)	安 福	田安土井 かずよ
	きよふく	安 福 きよしげ
たかこ 黒原1115239 (80.7)	隆 桜	隆 美 はらだ
	ふくみ	福 茂 ひでみ

直検定成績	DG	365補正体重	得点
	0.96	421.7	82.5

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	15.0	133.4	151.8	179	465

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成18年7月	平成20年1月	平成21年9月～12月

てん しょう まる
天翔丸号



発育・体積良好、魅力的な血統構成

生年月日 / 平成17年5月2日
産 地 / 日之影町
生 産 者 / 戸高 今朝幸

血 統

茂 福 黒原2858 (83.0)	安 平	安 福 きよふく
	ふくみ	福 茂 第6かゆり
つ き 黒原1058126 (80.6)	福 桜	隆 桜 きよふく
	ひでこ	紋次郎 ひろひで

直検定成績	DG	365補正体重	得点
	1.18	423.4	83.0

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	12.7	131.4	144.2	173	426

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成18年8月	平成20年2月	平成21年10月～平成22年1月

新規種雄牛紹介

ひゅうが おう

日向王号



日向国の産子初登場

生年月日 / 平成17年5月10日

産地 / 清武町

生産者 / 佐伯 丈士

血統

日向国 黒原3492 (82.6)	北国7の8	第7糸桜 きたぐに7
	たかみや	隆 美 きよみ
な み 黒原1176308 (82.8)	福 桜	隆 桜 きよふく
	ちさか	安 平 とみこ

直検 定成 績	DG	365補正体重	得点	測 尺 値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	1.24	422.5	83.5		12.5	130.0	142.2	174	416

試験交配期間	現場後代検定開始	枝肉調査
平成18年10月	平成20年4月	平成21年12月～平成22年3月

飼養管理情報

黒毛和種牛繁殖・肥育農家で
最近みられる現象

黒毛和種子牛における腸炎と肺炎は慢性的に発生しています。主な原因として以下があげられます。①分娩前の母牛管理。 ②子牛の飼養管理・環境。 ③病原性微生物による汚染又は環境菌数の増加。最近、よく遭遇する原因として、分娩前の母牛管理に原因する子牛の疾病があります。農家側は、この原因に意外と気がつかないために事態は深刻になる場合が多いです。実際に起こったケース二つを紹介します。

ケース1：繁殖牛80頭規模の農家において、45日齢以下の子牛に腸炎・肺炎事故が多発し、3ヶ月間で死亡事故が3件、病傷事故が20件発生しました。母牛の分娩前の栄養度（BCS）は9段階で7

以上でした。この事故は、初乳が変化し、子牛に十分な免疫力（抵抗力）等が付与されなかったことが原因でした。また、分娩前に過剰な養分が母牛に給与されたために初乳が変化したと考えられます。この農家は、母牛からの初乳に加えて、市販の乾燥粉末初乳製剤を与えていたにもかかわらずこの事故は起きました。適切な初乳を摂取することで、この事故は終息しました。

ケース2：繁殖牛120頭規模の農家において、30日齢以下の子牛に腸炎事故が多発し、2ヶ月間で死亡事故が6件、病傷事故が11件発生しました。母牛の分娩前の栄養度（BCS）は9段階で3未満でした。死亡子牛の生時体重は少なかったです。この事故は、子牛の抵抗力が低下したことが原因でした。また、分娩前に十分な養分が母牛に給与されなかったために子牛の抵抗力が低下したと考えられます。分娩前の母牛に十分な養分を給与したところ、母牛のBCS及び子牛の生時体重は回復し、この事故は終息しました。分娩前の母牛管理に原因する子牛の疾病を予防するために、定期的に、母牛のBCSと血液検査及び、子牛の生時体重と3日齢の血中IgG量を調べることをおすすめします。

多くの肥育農家では、ここ数年、肉質が低迷しています。この原因を明らかにする上で、肉質に影響する要因について点検することは重要です。①子牛の遺伝能力と育成管理。 ②ビタミンAの制限と補給。 ③体内での養分の余剰量。 ④ストレスの程度。ここ数年の牛の体型を観てみると、体高、体長及び肋腹（フレーム）は良好ですが、栄養度が少なくなっている感があります。このことは、体内での養分の余剰量が減少していることを表していると思います。サシの形成は、養分の余剰量がどれだけ発生するかで決まります。これまで、9kg濃厚飼料を摂取すればサシ形成に必要な余剰養分が得られていたものが、10kg以上摂取しないと得られない牛が増えてきているように思えます。しかし、フレームが大きくなった牛でも、10kg以上の濃厚飼料を継続的に摂取することは困難な場合が多いようです。枝肉重量を増やすことを目的にフレームを大きくすることも重要ですが、フレームが大きくなると、その分、余剰養分を得ることが難しくなり、サシの形成や歩留基準値は抑制されます。肉質を向上させるために、常に、牛の体型（フレームと栄養度）をモニターする必要があります。肥育中～後期の牛群の多くで栄養度が不足していたら、あらゆる努力をして、前期～中期に濃厚飼料を食い込ませるか、または、肥育前～中期でフレームが伸びすぎないように前期における粗飼料に対する濃厚飼料の給与量を増やす必要があります。ただし、前期における粗飼料に対する濃厚飼料の給与量が過剰になると、かえって、フレームを抑えすぎますので注意が必要です。

暑熱のストレスは、繁殖牛、子牛及び肥育牛に多大な影響を及ぼし、上記の問題が更に深刻になります。よって、この季節、暑熱対策は絶対やるべきです。上記のように、ただでさえ子牛生産や肥育は難しい仕事なのですから。



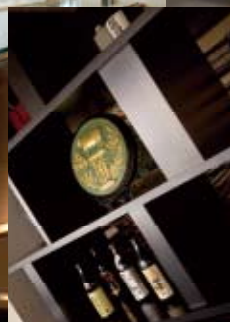
(NOSAIみやざき 足立)

由緒正しき黒毛和牛の最上級「宮崎牛」

日本を代表する黒毛和牛の産地、宮崎県

中でも良質なものが「宮崎牛」の名を許されます

黒潮走る日向灘。光輝く太陽。緑豊かな南国、宮崎の地で真心こめて丹念に育てました。とろけるほどの柔らかな肉の甘さ、豊潤で奥深い味わいは、国内外で最高の評価を得ています。



最高級の宮崎牛をご堪能下さい。

大淀河畔

河畔
人
古
中

- 営業日／年中無休
 ■営業時間／ランチ 11時～15時
 ディナー 17時～23時
 ■店舗席数／ステーキ 52席
 焼肉 38席



※当店で食事をした方は駐車料無料
宮崎観光ホテル西館2階
宮崎市松山1丁目1-1
☎0985-62-1129

●今後の行事予定

登録日

子牛セリ市開催日

青文字:黒毛和種成雌牛登録検査日程

[illegible]